

親子でスノーケリング①



1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

海の生物を自分の目で観察することができる「スノーケリング」を通して、海辺の生き物や環境への関心を高めたり、家族間のふれあいを深めたりできる機会を提供することを目的とする。

○ 実施期間

平成30年9月1日(土)～平成30年9月2日(日) 1泊2日

○ 対象者・参加者数(人数/定員)

保育園年長児・小学1・2年生の児童 11家族/23名

○ 活動プログラム

9月1日[土]	9月2日[日]
12:45 海の駅とろむ 集合・受付	6:00 起床・洗面・清掃
12:55 海浜活動センターへ移動	7:15 朝のつどい(正面広場)
13:10 海浜活動センター着 着替え、準備	7:30 朝食(食堂食)
13:30 日程説明・活動説明	8:15 自然の家 発(自家用車)
13:40 スノーケリングについての説明	8:45 海の駅とろむ 集合
14:00 スノーケリングマスクの洗浄	8:55 海の駅とろむ 出発(所バスで移動)
14:15 マリンブーツに履き替え グローブのフィッティング	9:00 スノーケリング②(新港北)
14:25 マスクのフィッティング スノーケルクリア練習 ウェットスーツ着用	11:30 活動終了・移動・片づけ・更衣
15:00 海でのスノーケリング練習	12:00 おわりのつどい
15:10 移動	
15:20 スノーケリング①(坂本海岸)	
15:50 活動終了・移動・片づけ	
16:20 海浜活動センターへ移動	
16:45 とろむへバス送迎	
17:30 自然の家 着 タベのつどい(正面広場) 夕食(食堂)	
18:30 オリエンテーション(オリ室)	
21:00 就寝	



2. 活動の様子

9月1日(土) <1日目>

【スノーケリングクリア練習】



【海でのスノーケリング練習】



1日目は、スノーケリング体験の基礎編として、スノーケリングの概略や道具の使い方について説明した。「スノーケリングの各部の説明」、「スノーケリングマスクの洗浄」、「スノーケリングクリア練習」を親子で協力しながら行った。子供たちは、いろいろな活動を通してスノーケリングに興味津々であった。また、親子で楽しく活動している姿がたくさん見られていた。

スノーケリングクリア練習後、坂本海岸に移動してスノーケリング練習や磯の生き物を捕まえたりする活動を行った。雷の影響で活動時間は少なかったが、海の生き物を捕まえてうれしそうにしている子供や水槽に生き物を入れて観察したり、触れ合ったりする姿が見られた。

9月2日（日）＜2日目＞

【とろむでのスノーケル体験】



2日目は、スノーケリング体験の応用編として、前日に学習したスノーケリングの使い方を元に実際に海に入り生き物の観察を行った。小雨の中での活動であったが親子で手をつないで楽しそうに魚を見つけている姿が見られた。1・2年生の児童が多く海で泳ぐことが初めての児童が多かったが、親子で助け合ってスノーケリングを行っていた。雷の影響もあり、海での活動は30分ぐらいであったが家族で生き物を楽しそうに探している姿が多く見られていた。

参加した家族の中には、「また室戸に来てスノーケリングなど、海の活動を子供がやりたいと言っているので連れてこようと思っています。」と話してくれた。今回の活動を通して、スノーケリング活動の楽しさが家族の中に感じられたのではないかと思われる。また、家族愛を深めることもできたと思う。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・登校日チラシで知りました。とても良い内容だったので、夏休み前にチラシをはさんでいただければ、もっと周知できるのではないかと思います。また参加したいです。
- ・今年は、天候があまりよくありませんでしたので、天候が良い時に再チャレンジしたいです。
- ・スノーケリング以外の活動もあれば参加してみたいです。(カヤックなど)
- ・天候が悪かったこともあり、全体的に待ち時間が多くあった事や天候で時間短縮になった時などどうするのかなど気になりました。
- ・お天気が少し残念でしたが、指導の先生やボランティアの方々の対応がとても良く、楽しめました。海の生き物がたくさん見られて子どもも私もうれしかったです。

○ 事業の成果

- ・親子でスノーケリングをする機会があまりとれないので、今回の事業をすごく楽しみにしている家族が多かった。親子の仲睦まじい姿をたくさん見ることができた。
- ・悪天候のためにプログラム通りいかない場合もあったが、少しでもスノーケリング体験をさせたいと考えて取り組んだ。活動時間は少なかったが、子供たちからは「海の生き物が見られてよかった。」という感想も聞いた。スノーケリングの楽しさを少しではあるが感じることもできたと思う。「次もスノーケリングをやりたい」という意識を高めることができた。
- ・今年も株式会社タバタ様に協賛いただき、スノーケルマスクの廉価提供と販促グッズ(防水カプセル)の提供することができた。親子でスノーケリングのグッズが揃ったことで、家族で海に出かける機会が増えると思われる。

○ 事業の課題

- ・第1回親子でスノーケリングは、11組23名の参加で事業が行われた。昨年は、7月開催で夏休み期間でもあったのでたくさんの方が参加されていたが、今年度は申し込みも少なかった。参加者が参加しやすい時期に実施できるように計画を立てる必要がある。
- ・事業のお知らせを早くして、たくさんの方に周知すると参加者も増えると考えられる。
- ・今年は、台風など影響で計画したプログラム通りできない場面が多かった。天候が悪くても親子で活動できるプログラムをしっかりと考えなければならない。